

大阪・関西万博に関する関係者会合

議 事 次 第

日時：令和５年８月３１日
１５：５０～１６：１５
於：官邸４階大会議室

１．開会

２．議事

- （１）大阪・関西万博の課題について
- （２）意見交換

３．閉会

配付資料

- 資料１ 大阪・関西万博におけるパビリオン建設の状況
- 資料２ 大阪・関西万博に関する課題と対応方針

出席者

岸田	文雄	内閣総理大臣
松野	博一	内閣官房長官
斉藤	鉄夫	国土交通大臣
西村	康稔	経済産業大臣
岡田	直樹	国際博覧会担当大臣
山田	賢司	外務副大臣
井上	貴博	財務副大臣
木原	誠二	内閣官房副長官
磯崎	仁彦	内閣官房副長官
栗生	俊一	内閣官房副長官
吉村	洋文	大阪府知事
横山	英幸	大阪市長

十倉	雅和	一般社団法人	日本経済団体連合会	会長	兼
		公益社団法人	2025年日本国際博覧会協会	会長	
松本	正義	一般社団法人	関西経済団体連合会	会長	兼
		公益社団法人	2025年日本国際博覧会協会	副会長	
石毛	博行	公益社団法人	2025年日本国際博覧会協会	事務総長	
茂木	正	経済産業省	商務・サービス審議官		

○岡田国際博覧会担当大臣　ただいまから、「大阪・関西万博に関する関係者会合」を開催いたします。

本日は、海外パビリオンをはじめとした万博をめぐる各種課題と対応方針を関係者で共有するため、関係省庁、地元大阪府・市、経済界、博覧会協会といった関係者の皆様にお集まりいただきました。

まず、パビリオン建設の状況と全体の課題について私から御説明し、その後、皆様からそれぞれの取組状況について御報告いただきたいと思います。

早速、御説明いたします。

資料1を御覧ください。

昨日、西村大臣と大阪の博覧会協会を訪問し、会場整備について、改めてパビリオン建設を急ぐ必要があると痛感いたしました。パビリオン建設については、様々な課題を乗り越えていく必要がございます。インフラ関連の工事については、工事期間中の車両混雑や上下水道・電気供給など、施工環境整備が課題となっております。迎賓館や民間パビリオンなどの主要建築物は、施工事業者は決定しておりますが、資材価格高騰・人手不足の中、内装・外装、展示工事の最後まで、着実に進めていく必要があります。海外パビリオンについては、約100か国が利用する協会が建設する形式のパビリオンは、参加国自身が、内・外装、展示工事を着実に進めていく必要がございます。一方で、参加国が建設する形式を取る約50か国については、楽観視できない状況であります。パビリオンの建設事業者が決定した国は、内定も含めて10か国余りとなっております。このほかにも、基本構造を協会が建設し、内装・外装、展示を自国で行う建築方式、いわゆるタイプXに関心を持つ国も出てきております。その他の国も調整は進んでおりますが、依然として楽観できる状況ではなく、1つには、交渉妥結が近い国は伴走して支援を行う、2つには、参加国に対しては改めて支援策であるタイプXの活用意向を確認する、こうしたパビリオンの施工環境整備など、支援策を講じてまいります。

2ページ目、参考でございますが、パビリオンのイメージであります。タイプXについては、参加国が外装や内部の展示にリソースを集中して取り組むことができるといったメリットがあります。

次に、この縦紙、資料2を御覧ください。大阪・関西万博の全体に関わる課題と対応方針を整理しました。

まず、海外パビリオンの建設の遅れについては、先ほど説明したとおり、参加国と建設事業者との調整を進めます。また、タイプXを担う建設事業者に対しては、段階的な発注を進めてまいります。2点目の建設費の高騰に対しては、増額の懸念が高まっていることは事実であり、改めて基盤インフラなどの会場建設費の精査を行います。3点目の建設全体を円滑に進めるための施工環境整備も、重要な課題であります。関係省庁、博覧会協会、大阪府・市を含む関係者が連携し、速やかに環境整備を進めてまいります。内・外装、展示の工事についても、対応が必要であります。4点目の安全で円滑な運営として、来場者

の安全確保は最も基本的かつ重要であります。高い要求水準が求められております。5点目の万博のコンテンツの充実と魅力の発信についても、今後、ますます磨きをかけていく必要があります。機運を高め、11月30日からのチケットの販売促進に取り組みます。最後に、博覧会協会の人的基盤の強化であります。関係省庁の協力の下、体制強化が必要と考えます。事務総長の会見なども始まりますが、丁寧で分かりやすい広報も重要であります。

以上、パビリオン建設のみならず、様々な課題と対応策を御紹介しましたが、これらを一つ一つ解決し、大阪・関西万博の成功につなげてまいりたいと考えております。何とぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、御出席の皆様から、取組状況の御報告をお願いいたします。

初めに、西村経済産業大臣、お願いします。

○西村経済産業大臣 昨日、岡田大臣と現地で会場建設の進捗状況などを確認したところであります。今、岡田大臣から説明がありましたとおり、基盤インフラや主要建築物など、全体としては一定程度の進捗があるところでありますが、海外パビリオン、特に参加国が建設するタイプAのパビリオンについては、まだまだ楽観視できる状況ではありません。

このため、経産省として、開催に向けて、施工を期限内にやり遂げるという覚悟で、省を挙げて、引き続き参加国及び建設事業者とのマンツーマンでのきめ細かな調整や環境整備に取り組んでいきたいと思っております。時間も限られる中、ハイレベルでの調整・交渉も必要になるため、岡田大臣、斉藤大臣、林大臣とも密に連携しながら、迅速に取り組んでまいります。

今後、経産省から、既にいるのですけれども、幹部をはじめ、人員を博覧会協会にさらに送り込み、抜本的に体制を強化したいと思っております。各府省からの協力もお願いしたいと思っております。

また、資材高騰による建設費の上振れなど、予算的な課題に対しましても、まずは協会においてしっかりと必要な金額を精査するようお願いしたいと思っております。この結果を踏まえて、財務省をはじめ、関係省庁と連携しながら、その後の対応は検討してまいりたいと思っております。

いずれにしましても、大阪・関西万博の成功に向けて、当面の課題であります海外パビリオンの建築の加速に向けて、緊張感・危機感を持って、最大限、取り組んでいきたいと思っております。

以上です。

○岡田国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

次に、斉藤国土交通大臣、お願いいたします。

○斉藤国土交通大臣 海外パビリオンの建設につきましては、国交省として、建設業界の懸念を聞き取り、整理し、それを経済産業省及び万博協会に伝えるとともに、逆に、業界への要請を周知することで、円滑な受発注につながるよう、危機感を持ちながら、取り組

んでまいります。建設業界も協力していきたいとの意向ですので、受注できるかの検討のためにも、1、判断に必要な設計等の情報の速やかな提供、2、実態に合った金額、適正な工期での発注をよろしくお願いいたします。その上で、資材の輸送・保管や工事関係者の入退場など、施工条件に対する建設業者の不安についても、万博協会や地元行政とも一体となって、解決に取り組んでまいります。

国交省としても、何としても万博をやり切るとの思いの下、皆様と連携して、しっかりと取り組んでまいります。

以上です。

○岡田国際博覧会担当大臣　ありがとうございます。

次に、山田外務副大臣、お願いいたします。

○山田外務副大臣　各国による独自パビリオンは万博の華であり、外務省としまして、各国独自のパビリオンが多く実現できることを重視しております。

先般来、外務省は、林大臣及び私自身、そして、各在外公館における働きを通じて、パビリオン建設作業に係る先方政府等との意思疎通を最大限支援してまいりました。オールジャパンの取組により既に進捗が見られておりますが、大阪・関西万博の成功のため、関係省庁、博覧会協会等との連携を密にし、外務省としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。

以上です。

○岡田国際博覧会担当大臣　ありがとうございます。

次に、大阪府の吉村知事、お願い申し上げます。

○吉村大阪府知事　本日は、地元の取組について、発言の機会を与えていただきまして、誠にありがとうございます。御礼を申し上げます。

海外パビリオンの建設の促進について、これは、地元の中小企業の建設事業者、設備事業者の協力も非常に重要だと思っております。大阪において、8月3日に、府内の関係団体にこの協力要請の文書を発出いたしました。また、9日には、私自身も、定例会見で呼びかけをいたしました。また、24日には、関西広域連合におきまして、関西の知事・市長に対して同様の協力要請を行ったところでもあります。さらに、加えまして、本日ですが、私と市長とで、また、協会も一体となりまして、地元の建設業界の皆さんと懇談会の場を設けました。海外パビリオンの建設促進への協力について、働きかけを直接行いました。皆さん、協力していこうという非常に前向きな御意見をいただきました。ただ、その中で、全体的な意見として、発注者の情報が不足しているという声を多くいただきました。具体的には、海外パビリオンの発注の見通しをできるだけ早く提供してもらいたい、あるいは、当面の工事を相当程度抱えている、非常に忙しい状況の中で、作業員の確保等の段取りを組む上でも、やはり情報は早めをお願いしたいというところ、また、発注者が個々の業者に何を求めているのかということも開示してもらいたい等々、御意見がありました。発注者と受注者の情報をマッチングさせるポータルサイトを大阪府で準備しておりまして、ま

た、その登録もお願いしたところです。協会と一緒にになりまして、地元の団体にも、また、地元の中小の建設事業者にも、積極的に働きかけをしてまいりたいと思います。

そして、海外の施工事業者に対する建設業許可の手続というものがございまして、これは、昨日、スイスの事業者に建設業の許可を行いました。海外の建設事業者が海外パビリオンを建設するパターンもある。その中で、府で建設業許可の判断をするわけですが、そこについて、迅速な審査体制を整えて、スイスの事業者の許可を行いました。今、複数国から相談が来ているという状況であります。引き続き海外パビリオンの建設が促進されるように、国と協会、経済界とともに、尽力してまいりたいと思います。

また、この万博を成功させるためにも、やはり国民の支持・信頼は非常に重要になってくると思っております。今、海外パビリオンのAタイプがタイトになっているところでもあります。8月30日を目途に、一定の期限も区切りながら、意見を聴いているということでもあると思いますが、当然、全てを明らかにできないにしても、一定の方向性、どういった状況になっているのか、今、どのぐらいの国がこのAタイプで進めようとしているのか、Xタイプなのか、なかなかその判断がまだつきかねないとしても、今後、どういったスケジュールで進めていくのかといった方向性についても、ぜひ積極的に情報を開示していくべきだと考えております。国民の信頼なくしてこの万博の成功はないと思っております。

国、協会、経済界、そして、この大阪府・市の地元が協力しながら、すばらしい万博を成功させたいと思っておりますので、総理をはじめ、大臣の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

○岡田国際博覧会担当大臣　ありがとうございます。

次に、大阪市の横山市長、お願いいたします。

○横山大阪市長　本日は、岸田総理大臣をはじめ、各大臣におかれましては、日頃より多大な御尽力を賜り、誠にありがとうございます。

先ほど岡田大臣が御説明いただきました資料1、基礎インフラ、工事環境の点に係るところかと思いますが、何点か御報告させていただきます。

まず、夢洲での円滑な工事車両確保についてでございます。現在、関係省庁、協会と協議の上、橋梁の車道の拡幅や立体交差工事など、必要なインフラ整備を進めております。今後、前倒しも含め、早期のインフラ整備に取り組んでまいります。

また、港湾物流と交通対策についてでございます。国から御支援いただきまして、CONPASの導入や夢洲コンテナターミナルにおける荷さばき地の拡張などが進んでおります。この点は本当にありがとうございます。また、加えまして、空コンテナの返却場所のシフト、今夢洲にありますこれを咲洲にシフトする空コンのシフトや、ターミナルゲートの時間延長などにつきましても、現在、港湾関係者と協議を重ねて、万博期間開催中の実現は協議が進んでおるのですが、これを前倒しして、工事期間中も実現できるように協議を進めてまいります。

最後に、建設現場の環境整備についてでございます。工事出入口の増やバックヤードの確保など、こちらも、協会、関係者の皆様と一緒に取り組みを進めてまいります。

引き続きあらゆる選択肢を検討の俎上に上げて全力で取り組んでまいりますので、国、協会、経済界の皆さんと力を合わせて、全力で実現したいと思います。

今日は、ありがとうございます。

○岡田国際博覧会担当大臣　ありがとうございます。

次に、日本経済団体連合会及び博覧会協会の十倉会長、お願い申し上げます。

○十倉日本経済団体連合会会長・2025年日本国際博覧会協会会長　ありがとうございます。

本日、総理主宰の下、関係閣僚、大阪府知事・市長、経済界が一堂に会し、大阪・関西万博の成功に向けて、オールジャパンで取り組むことを確認できたことを、大変心強く思います。総理のリーダーシップに心より敬意を表したいと思います。

申し上げるまでもなく、複合危機と言われ、混迷を深める世界におきまして、「いのち」をテーマに掲げ、我が国が万博を開催することは、極めて意義深いことだと考えます。その中でも、パビリオンは万博の華であり、開幕まで時間が限られる中、博覧会協会といたしましては、皆様方と連携を密にしながら、パビリオンの建設をはじめ、準備が円滑に進むよう、取組を加速してまいり所存でございます。また、経団連といたしましても、国家プロジェクトである万博の全国的な機運醸成等に積極的に取り組んでいるところであります。

一方、皆様方から御指摘がありましたように、まだまだ様々な課題が山積しております。総理の下、関係者が一丸となりまして取組を進めれば、必ずや世界に誇れる万博が開催できるものと確信しております。

万博は、食や伝統文化に代表されます日本のソフトパワーを世界に発信し、ポストコロナを迎える中で、インバウンド消費を一層活性化させ、我が国経済を力強く牽引する絶好の機会でもあります。こうした2025年大阪・関西万博をぜひとも岸田総理の下で成功裏に開催することを心から期待するものであります。引き続き、御支援、御協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

○岡田国際博覧会担当大臣　ありがとうございます。

次に、関西経済連合会の松本会長、お願いいたします。

○松本関西経済連合会会長　関西経済連合会の松本でございます。

岸田首相をはじめ、政府の皆様には、万博の成功に向けて、大変な御尽力をいただいております。経済界としても本当にうれしく思っています。厚く御礼を申し上げます。

大阪・関西万博は、いよいよホームストレッチにかかっております。経済界の全国のネットワークをフルに使いまして、この1年半で経済界としてできることは全て出し切っていくということで覚悟をして、関西もかなり意気が揚がってきているところでございます。頑張っていきたいと思います。

まず、前売りチケットの発売開始を11月30日に迎えまして、関西以外ではまだまだ盛り

上がりの途上でありまして、全国レベルでの機運醸成が待ったなしの課題となってきました。こうした中で、博覧会協会に今年より新たに設置されました機運醸成委員会におきまして、まず、今年の10月から12月を第1回目の重点期間に設定しております。シティドレッシング、駅や空港、店舗などの大々的なPRを呼びかけております。スケジュールも立てております。この委員会の委員長を私が仰せつかっておりまして、経済界の出身ではありませんけれども、私自身、全国各地の今までに培ってきた関係団体のネットワーク、企業・メディア等を訪問して、協力をお願いしているところであります。

また、関経連では、主要企業に対して、チケットの購入の協力依頼も進めているところでございます。経済界で700万枚売れという話なのですが、関西の経済界としましては十分な貢献をしていきたい、全国的に私も行脚しまして皆さんをお願いしていきたいと思っております。こうした輪が今後広がることを大変期待しておるわけでございます。

政府におかれましては、力強いをお取組、御支援をよろしくお願い申し上げます。

○岡田国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。

次に、博覧会協会の石毛事務総長、お願いします。

○石毛2025年日本博覧会協会事務総長 本日は、大阪・関西万博に向けて、このような会議を開催いただきまして、大変ありがとうございます。厚く御礼を申し上げたいと思います。

大阪・関西万博の準備に当たりまして、今、いろいろと御心配をおかけしております。そういう中ではありますが、蛇足ではありますが、万博会場は私どもの執務室から毎日観察できるので、建設工事も始まっていますし、11月30日には前売り券の発売も開始するわけでありまして、開幕に向けて、まだまだ多くの課題があることも事実であります。今、皆様方から御指摘いただいたとおりであります。

そういう中で、先ほど岡田大臣から政府の対応方針について御説明をお聞きして、私も身の引き締まる思いであります。博覧会協会といたしましては、2025年4月13日に万全の状態で開幕を迎えることができるよう、総力を挙げて準備を進めてまいりますので、引き続き、御支援、御協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

ありがとうございます。

○岡田国際博覧会担当大臣 皆様から御発言をいただき、ありがとうございました。

それでは、ここで、岸田総理から、締めくくりの御発言をお願い申し上げます。

○岸田内閣総理大臣 2025年の大阪・関西万博開催まで、いよいよ600日を切りました。その中で、建設・土木業界全体の人手不足や資材価格の上昇などにより、海外パビリオンの建設や会場インフラ整備の遅延など、様々な課題が生じています。万博の準備は、まさに胸突き八丁の状況にあります。極めて厳しい状況に置かれていることを改めて直視し、正面から全力で取り組んでいかなければなりません。本日、こうした形で関係者の皆様方にお集まりいただきましたのは、まず、この危機感を政府、大阪府、大阪市、万博協会、そして、経済界が共有するためのものであります。そして、これまで以上に緊密に連携し、

まさにオールジャパン一丸となって、成功に向けてラストスパートをする決意を確認するためのものであります。

万博の成否には、国際社会からの日本への信頼がかかっています。私は、内閣総理大臣として、万博成功に向けて政府の先頭に立って取り組む決意であります。

会場建設及び海外パビリオンの建設について、楽観できる状況にはありません。関係省庁を挙げて、参加国政府、建設事業者、それぞれとの意思疎通をさらに強化し、契約締結に向けた取組を加速していく必要があります。また、交通アクセスなど、施工環境の改善にも取り組んでいく必要があります。大阪府、大阪市の協力が不可欠な課題であり、ぜひよろしくお願いしたいと思います。そして、このパビリオン建設だけでなくして、内装・外装、展示の準備を円滑に進めるためには、参加国及び建設事業者への支援が不可欠です。博覧会協会とともに、政府も前面に立って参加国と施工事業者の間に立って調整を行ってまいります。大阪・関西万博は、イノベーションの力で変革する日本の姿を世界に発信する絶好の機会です。テーマ館や民間パビリオン、イベントを含め、魅力あるコンテンツの充実が重要です。経済界の皆様の御貢献にも心から期待をしております。

また、安全確保は、万博の成功に必要な不可欠であり、近年の警備事案や事故を踏まえて、万博誘致当時よりも高い水準が求められています。会場内の安全確保に万全を期してまいります。万博の準備を円滑に進めていくためには、博覧会協会の体制強化が必須です。既に、経産省を中心に、これまで60名近くの職員を政府から派遣していますが、このたび、財務省、経産省から、局長級の派遣をはじめ、各省から要所要所に幹部を派遣することといたします。政府と緊密に連絡を取り、オールジャパン一丸となって力強く進んでいくための中核として、しっかりと働くことを期待いたします。

最後に、重ねて申し上げます。2025年の大阪・関西万博の成功に向けて、関係者一丸となって準備を進めたいと思います。私も、政府の先頭に立ちます。吉村知事、横山市長、万博協会、そして、経済界の皆様方、皆様方におかれましても、ぜひ御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

以上です。

○岡田国際博覧会担当大臣　ありがとうございます。

本日の会議を踏まえ、関係者の皆様方におかれましては、万博の成功に向けて、より一層の取組の強化・加速化をお願い申し上げます。

本日は、以上とさせていただきます。

ありがとうございました。